

第4章 関係団体の取組

関係団体の取組

一般社団法人 千葉市医師会	271
一般社団法人 千葉市薬剤師会	274
一般社団法人 千葉市歯科医師会	275
公益財団法人 ちば県民保健予防財団	276
社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会	277
社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会	278
公益社団法人 千葉市幼稚園協会	279
公益社団法人 千葉市民間保育園協議会	280
千葉市小中学校体育連盟	281
公益社団法人 千葉市観光協会	283
公益財団法人 千葉市産業振興財団	284
千葉商工会議所	286
一般社団法人千葉市建設業協会、千葉市造園緑化協同組合 協同組合千葉電設協会、協同組合千葉市管工 事業協会	292
公益財団法人 千葉市国際交流協会	293

団体名	一般社団法人 千葉市医師会				
関係局	保健福祉局、教育委員会				
取組内容	<p>千葉市より下記の協力依頼があり随時対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軽症者のドライブスルーPCR 検査への協力 ・ワクチン接種への協力(集団接種への医師派遣、自院での個別接種) ・保健所プレハブ診療所での診療、PCR 検査等への協力 ・電話診療への協力(在宅療養者、ホテル療養者) ・保健所より医療機関での PCR 検査の受託 ・宿泊療養施設での PCR 検査への協力 <p>会員に対し、下記の援助を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講習会の開催(ワクチン接種、アナフィラキシーなど) ・マスク、ガウン、グローブなど医療資材等の配付 ・マニュアルの作成(アナフィラキシー、コロナウイルス初期診療等) ・アナフィラキシー対策救急医薬品販売の斡旋 <p>コロナ禍における定期健康診断の実施方法について保健体育課と協議を行い、以下の対策をして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8月～12月の期間で実施 ・診察の簡略化(内科では口腔内は診ない、眼科での触診は行わない) ・ゴーグルを着用 等 ・ペーパータオル及びグローブを使用(眼科検診時) ・検査器具の消毒(体重計、身長計、遮眼子、オージオメーター) <p>新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同マニュアル作成に当たり、教育委員会に対して指導・助言を行った。 				
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・軽症者のドライブスルーPCR 検査 <table border="1" data-bbox="368 1447 770 1547"> <tr> <td>年度</td> <td>R2</td> </tr> <tr> <td>検査数</td> <td>598 件</td> </tr> </table> ・集団接種会場へ医師を派遣 <p>会場:千葉中央コミュニティセンター 期間:令和3年4月18日(日)～令和4年9月25日(日) 開催日数:87日 総接種回数:45,751回 医師派遣延べ人数:984人</p> ・自院での個別接種 <p>総接種回数:1,978,527回</p> 	年度	R2	検査数	598 件
年度	R2				
検査数	598 件				

・保健所プレハブ診療所での診療

年度	R2	R3	R4	計
対面診療件数	62件	159件	9件	230件
電話診療件数	39件	143件	1件	183件

・保健所からの依頼により会員医療機関が実施した PCR 検査

年度	R2	R3	R4	計
実施件数	432件	988件	145件	1,565件

・宿泊療養施設にて令和2年5月当初から約1か月間、PCR 検査協力を実施
(令和2年5月末までの退院基準:陰性化確認が必要)

・講習会(ワクチン関連2回、感染症対策 1 回、アナフィラキシー1回)

・医療資材の配付

配布先:会員医療機関 約 500

配布物:(マスク 2,420 枚、N95 マスク 140 枚、ガウン 560、グローブ 300 セット、フェイスシールド 108 枚、PPE セット 1 セット、アルコール消毒液 1000ml、エタノール消毒液 500ml)

・マニュアルの作成:4種

(新型コロナウイルス感染症在宅療養者対応マニュアル、アナフィラキシー初期対応マニュアル、かかりつけ医のための「新型コロナウイルス初期診療」マニュアル、小児用新型コロナウイルスワクチン接種後アナフィラキシー初期対応マニュアル)

・アナフィラキシー対策救急医薬品販売の斡旋 1回

保健体育課と定期健康診断に関して以下の点について協議(令和2年4月7日)

- ・ 検診時期→法で定められている6月30日までの実施とせず時期を設定
- ・ 検診実施内容及び方法→内科・耳鼻科・眼科
- ・ 腎疾患精密検診、手帳点検等の日程について→尿検査を実施できないため要検討
- ・ 結核精密検診の実施について、問診票を回収でき次第、内科健診を待たずに精密検診連絡票を作成
- ・ 健康診断実施延期の連絡→学校からの連絡に加え医師会からも学校医へ連絡以降、実施方法について、実施後の課題や国の通知等に基づき、指導・助言を行った。

	<p>新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて</p> <p>令和2年7月7日 保健体育課と健康診断に係る新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年7月改訂 <p>以降、対策マニュアルについて、検診実施後の課題や国の通知等に基づき、指導・助言を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年8月改訂 ・令和3年3月改訂 ・令和5年3月改訂
<p>成果と課題</p>	<p>【予防接種について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別接種と集団接種のメリット・デメリットを考慮し、都市毎の人口、接種に参加する医師数・医療機関数、実施日数・時間、接種会場の特性などを踏まえ、事前にシミュレーションなどを行い、より有効な方法を選び、個別接種と集団接種の割合を決定 ・ワクチン接種への不安軽減や接種医療機関の増加を図るため、ワクチンに関する講習会やアナフィラキシー対応講習会・マニュアルの作成などを実施した ・外出困難者への接種について、実態調査および訪問接種を行うのにあたり行政の協力は不可欠である ・接種計画作成には、医師会と二次対応病院、行政、薬剤師会、消防との連携や意思疎通が重要である <p>【検査、診療体制について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検査体制については発熱外来だけでなく、休日等の対応を含め行政との協力の下に構築する必要がある ・感染対策の備品は行政が責任を持って備蓄すべきであるが、医師会としてもある程度の備蓄は必要である ・自宅療養者の健康観察は感染急増時に保健所の業務が逼迫するので、医師会ができる範囲で支援を行うべきである ・自宅療養者の往診等の診療体制の構築が必要であるが、状況により外部事業所の活用も考慮する ・遠隔診療については、自宅療養者に対する電話診療は非常に有用であるが、初診時は、対面診療で得られる情報より劣るため慎重であるべきである <p>【定期健康診断について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、医師会、教育委員会、学校医、学校、それぞれの役割分担を明確にして実施することにより、児童生徒にとって安心・安全に健康診断を実施することができた。 ・学校規模によって、一日で実施することが難しい学校もあった。また、中学校においては、健康診断の結果によって市内中学校総合体育大会への参加の可否が決まる等、健診結果が関係する事業要項等の見直しも同時に行う必要がある。 <p>【新型コロナウイルス感染症対策マニュアルについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し保健体育課と協議を行い、安心・安全に健康診断を実施することができた。

団体名	一般社団法人 千葉市薬剤師会									
関係局	保健福祉局									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年8月に、自宅療養者向けの調剤及び服薬指導事業を受託し、新型コロナに罹患し、自宅療養をしている患者宅へ薬を届けるとともに、服薬指導を行った。 令和4年11月に、新型コロナウイルス抗原検査キットの備蓄を目的とした購入費用助成事業を受託し、市内会員薬局で抗原検査キットを販売するとともに、抗原検査キットの正しい使用方法等の説明を行った。 抗原検査キットを取り扱っている薬局一覧を随時ホームページで公開して、市民が購入しやすい環境を整えた。 新型コロナウイルスワクチンの職域接種において、会員を派遣して、ワクチンの管理と充填等を行った。 									
実績	調剤及び服薬指導									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和3年度</th> <th>令和4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力薬局 (のべ軒数)</td> <td>264店舗</td> <td>1,193店舗</td> </tr> <tr> <td>調剤件数</td> <td>4,493件</td> <td>46,034件</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和3年度	令和4年度	協力薬局 (のべ軒数)	264店舗	1,193店舗	調剤件数	4,493件	46,034件
年度	令和3年度	令和4年度								
協力薬局 (のべ軒数)	264店舗	1,193店舗								
調剤件数	4,493件	46,034件								
実績	抗原検査キット購入費用助成									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>第1期 (11月11日～12月11日)</th> <th>第2期 (12月12日～1月10日)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>協力薬局</td> <td>175店舗</td> <td>170店舗</td> </tr> <tr> <td>販売個数</td> <td>34,052個</td> <td>39,762個</td> </tr> </tbody> </table>		第1期 (11月11日～12月11日)	第2期 (12月12日～1月10日)	協力薬局	175店舗	170店舗	販売個数	34,052個	39,762個
	第1期 (11月11日～12月11日)	第2期 (12月12日～1月10日)								
協力薬局	175店舗	170店舗								
販売個数	34,052個	39,762個								
	ワクチンの職域接種 千葉大学西千葉キャンパス けやき会館 令和3年7月19日～9月28日 34,000接種(モデルナ)									
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 調剤及び服薬指導については、感染拡大の状況においても、医薬品等の安定的な供給を維持し、自宅療養者に寄り添った服薬指導等の対応ができた。自宅への薬のお届けに関しては薬局の人員的な負担も大きかったため、インフラの整備等が望まれる。 抗原検査キット購入費用助成については、検査キットを手元に置いておき、いつでもセルフチェックできるようにする事を啓発することができた。感染拡大時の医療機関の負担を減らす為に、普段からセルフメディケーションを進めていく事が望ましい。購入時の書類提出等の購入者側の負担を減らす為に、ICTの活用等で省力化する事が望ましい。 検査キット扱い薬局一覧については、閲覧数が多かったため市民に活用していただけたと思われる。適切なタイミングで更新して最新情報を提供していきたい。 ワクチン接種業務について、会としては行政のワクチン接種業務には関与しなかった。医薬品の管理等、職能を発揮できる場面が多くあるので、今後は対応していきたい。 									

団体名	一般社団法人 千葉市歯科医師会
関係局	教育委員会
取組内容	<p>【歯科健診について】</p> <p>令和2年6月に、コロナ禍における健康診断の実施方法について保健体育課と協議を行い、以下の対策をして実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ダブルミラー(口を触らない検診を行うため)を使用 ・歯科医師がフェイスシールド、マスクを着用 ・手指用アルコール準備 ・顎関節は視診、聴診を行い触診はしない <p>【委託事業について】</p> <p>○歯と口の健康づくり啓発事業</p> <p>本事業について保健体育課と協議し、事業計画・実施方法を工夫して実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位相差顕微鏡の使用中止 ・RD テスト(小学1~4年生)の中止 ・ペロリオスクリーン(小学5・6年生、中学生)の中止 ・DVD 画像の活用
実績	<p>【歯科健診について】</p> <p>令和2年4月2日 保健体育課と健康診断の実施について確認 →口腔内に触れない健康診断実施に向けて保健体育課に要請</p> <p>令和2年6月11日 保健体育課と健康診断の実施方法について以下の点について協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診の実施時期→8月下旬から12月で行う ・秋の歯科健診について→令和2年度は行わない ・口腔内に触れない健診方法について→ダブルミラーによる実施 ・検査項目の簡略化について→顎関節は視診、聴診を行い触診はしない <p>令和3年3月3日 次年度の健康診断について保健体育課と協議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期日について→6月30日までで予定を組み感染状況によって流動的に行う ・実施方法について→令和2年度と同様 <p>その後、感染拡大状況により秋の歯科健診について保健体育課と協議を行い、令和3年度も中止した。</p> <p>【委託事業について】</p> <p>○歯と口の健康づくり啓発事業</p> <p>令和2年度 みつわ台中学校区(4校)、星久喜中学校区(2校)で実施 令和3年度 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止 令和4年度 緑町中学校区(3校)、こてはし台中学校区(3校)で実施</p>
成果と課題	<p>【歯科健診について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健体育課との協議を通して、内容の簡素化や検査器具の使用方法を工夫することで、児童生徒にとって安心・安全に歯科健診を行うことができた。 <p>【委託事業について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施方法を変更することで本事業を実施することができた。

団体名	公益財団法人 ちば県民保健予防財団													
関係局	保健福祉局													
取組内容	<p>1.がん集団検診会場にて新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、衛生管理業務(受診者の体温確認、施設の消毒、3密を避ける導線の確保等)を実施した。</p> <p>2.千葉市が、すべての検診において完全予約制を導入し来場時間を分割したことに伴い、受診者の待ち時間の短縮化・混雑の解消に努めた。</p>													
実績	<p>集団検診会場の衛生管理及び3密を避けるための会場運営に際して、人員を要する必要があるため、令和2年度より、通常配置人員に追加して配置した。</p> <p>検診種類ごとの件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>子宮がん検診</th> <th>肺がん・骨粗しょう症検診</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>42件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>42件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>35件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1件あたり1人配置</p>			子宮がん検診	肺がん・骨粗しょう症検診	令和2年度	42件	7件	令和3年度	42件	7件	令和4年度	35件	5件
	子宮がん検診	肺がん・骨粗しょう症検診												
令和2年度	42件	7件												
令和3年度	42件	7件												
令和4年度	35件	5件												
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体調確認の実施をおこなうことにより、集団検診を起因としたクラスターの発生はしていない。 ・ 会場内の待合や受診者同士のスペースを確保することにより受診者にも安心して検診を受診いただくことができた。 ・ 予約制を導入したことにより、会場ごとの予約数を把握することができ、次年度以降の会場の人数設定に反映することができるようになった。 ・ 予約制の導入により、名簿の確認をおこなっているが、予約時間よりも前に受診者が一斉に来場することが多く、受付場所に混雑が発生した。 ・ 体調チェック開始当時は新型コロナウイルス感染症による症状か喘息などのアレルギーなどで受入れの可否の判断がつきづらく、受診者にお待ちいただくことが発生していた。 ・ 3密を避ける会場設営は大型の会場では対応できるものの、小規模の会場では、待合スペースを広くとることで、座席数が減り結果、立ってお待ちいただくこととなった。 													

団体名	社会福祉法人 千葉県聴覚障害者協会										
関係局	保健福祉局										
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染が疑われる又は本人の感染は疑われないが、医療機関等の新型コロナウイルス感染予防対策により、健康な生活を送るうえで不可欠な医療の受診等に係る手話通訳の派遣が受けられない聴覚障害者が、適切な情報保障を受けられるよう、感染の危険性がないタブレットによる遠隔手話通訳システムを導入し、遠隔での手話通訳を行っている。 ・令和元年度 導入準備(遠隔手話通訳用タブレット(2台)及びソフトライセンス(J-Talk)の契約等) ・令和2年度～ 遠隔手話通訳システム導入開始 										
実績	<p><利用件数></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5 (8月末時点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用件数</td> <td>11件</td> <td>4件</td> <td>6件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※利用前のテスト通信も含む。同一利用者が複数回利用した場合も計上する。 ※令和3年度はすべて新型コロナウイルス感染症関連(PCR検査、新型コロナウイルス感染疑いの症状での受診、コロナ禍における医療機関都合による対人派遣制限対策など)。 令和4年度は聴覚障害者個人が所有するスマートフォンを使っでの遠隔手話通訳1件含む。令和5年度は新型コロナウイルス感染症関連1件、入院中のリハビリ等に係る説明での利用が5件。</p>			年度	R3	R4	R5 (8月末時点)	利用件数	11件	4件	6件
年度	R3	R4	R5 (8月末時点)								
利用件数	11件	4件	6件								
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染疑いのある聴覚障害者に接触することなく通訳が担保できた。 ・医療機関におけるタブレット操作のために、操作手順を写真で見える化したマニュアルを渡したことで、スムーズに受け入れてもらった。 ・医療機関の感染症対策により入院中の聴覚障害者に対して通訳派遣ができない時に、タブレットでの遠隔手話通訳を利用して聴覚障害者と医療従事者がきちんと意思疎通できた。 ・筆談での意思疎通が難しい入院中の聴覚障害者に対し、リハビリの説明を通訳するほか、相談員による傾聴を行うことにより聴覚障害者の心理的負担の軽減が実現できた。 ・高齢の聴覚障害者の場合、タブレットを通じた通訳に慣れるための場が必要だった。 ・医療従事者を始め、社会に広く遠隔手話通訳という手法が周知されることが必要。 										

団体名	社会福祉法人 千葉市社会福祉協議会																		
関係局	保健福祉局																		
取組内容	<p>【相談方法や講演会の開催方法の工夫】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン相談用のタブレットを導入し、対面等の既存方法に続く新しい相談方法を設けた。 ・ 集合方式の講演会ではなく、オンデマンド配信による講演会を実施した。 																		
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R3</th> <th>R4</th> <th>R5※</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td> <td>12件</td> <td>20件</td> <td>15件</td> <td>47件</td> </tr> <tr> <td>講演会</td> <td>3件</td> <td>2件</td> <td>0件</td> <td>5件</td> </tr> </tbody> </table> <p>※R5年度は8月31日時点の相談件数</p>				年度	R3	R4	R5※	計	相談件数	12件	20件	15件	47件	講演会	3件	2件	0件	5件
年度	R3	R4	R5※	計															
相談件数	12件	20件	15件	47件															
講演会	3件	2件	0件	5件															
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和3年度～令和4年度に関しては休校や休園、学級閉鎖等に伴い、子どもが在宅しているために、保護者が家を空けることができない状況の時にオンラインでの相談が行うことができた。 ・ オンデマンド配信による講演会を実施したことにより、受講者の人数が増えた。 ・ 令和5年度に関しては、新型コロナ対策としてのオンライン相談は受けていない。(家族の持病等により来所できない場合に活用している) 																		

団体名	公益社団法人 千葉市幼稚園協会
関係局	こども未来局
取組内容	<p>保育現場における新型コロナ対策の検討にあたり、会員施設を代表して市と調整を行うとともに、以下の取組みを行うことで、保育現場における感染拡大の防止を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策に関し、会員施設に対する情報提供と問合せ対応等 ・マスク着用、換気、消毒などの基本的な感染対策の徹底 ・コロナ陽性者発生に伴う登園自粛、休園措置への協力 ・ワクチン優先接種及び無症状職員等の PCR 検査の協力 ・幼稚園における濃厚接触者の特定への協力
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会員施設への情報提供及び会員施設からの問合せ対応を行った。 ・保育の提供を可能な限り継続するため、マスク着用や換気、消毒などの基本的な感染対策を徹底したほか、ワクチンの優先接種活用・PCR 検査の実施に努めた。 ・市が決定した登園自粛や休園措置に関し、保護者へ周知するとともに、問合せ対応を行った。 ・コロナ陽性者が発生した際には、濃厚接触者の特定のため、市からの聞き取りに協力した。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会員施設へ感染防止対策等の情報を適時適切に提供することで、感染拡大防止につながった。 ・基本的な感染対策の徹底により、コロナ禍においても保育を継続することで、社会経済活動の維持に貢献した。 ・コロナ陽性者発生に伴う休園措置、濃厚接触者の特定等を市と協力して適切に行うことで、感染拡大防止につながった。

団体名	公益社団法人 千葉市民間保育園協議会
関係局	こども未来局
取組内容	<p>保育現場における新型コロナ対策の検討にあたり、会員施設を代表して市と調整を行うとともに、以下の取組みを行うことで、保育現場における感染拡大の防止を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ対策に関し、会員施設に対する情報提供と問合せ対応等 ・マスク着用、換気、消毒などの基本的な感染対策の徹底 ・コロナ陽性者発生に伴う登園自粛、休園措置への協力 ・ワクチン優先接種及び無症状職員等の PCR 検査の協力 ・保育所等における濃厚接触者の特定への協力
実績	<ul style="list-style-type: none"> ・会員施設への情報提供及び会員施設からの問合せ対応を行った。 ・保育の提供を可能な限り継続するため、マスク着用や換気、消毒などの基本的な感染対策を徹底したほか、ワクチンの優先接種活用・PCR 検査の実施に努めた。 ・市が決定した登園自粛や休園措置に関し、保護者へ周知するとともに、問合せ対応を行った。 ・コロナ陽性者が発生した際には、濃厚接触者の特定のため、市からの聞き取りに協力した。
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・会員施設へ感染防止対策等の情報を適時適切に提供することで、感染拡大防止につながった。 ・基本的な感染対策の徹底により、コロナ禍においても保育を継続することで、社会経済活動の維持に貢献した。 ・コロナ陽性者発生に伴う休園措置、濃厚接触者の特定等を市と協力して適切に行うことで、感染拡大防止につながった。

団体名	千葉市小中学校体育連盟																																	
関係局	教育委員会																																	
取組内容	<p>【中学校】</p> <p>○令和3・4年度千葉市中学校総合体育大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全種目の「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」を配付した。 ・参加生徒の「健康チェック表」提出と健康状況を確認した。 ・令和3年度:保護者参観なし ・令和4年度:保護者参観あり(一部制限あり) <p>○感染症対策を講じた体育的行事の調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育祭における感染症対策の方法や実施時間、開閉会式についてアンケートを実施 <p>【小学校】</p> <p>○令和3・4年度小学校陸上大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校規模ごとに、時間を分けて開催し、参集する人数を制限した。 ・4×100mリレーを感染症予防対策のため実施しなかった。 ・陸上競技場に応援児童を入れず、各学校においてギガタブを活用してオンライン応援とした。 <p>○令和3年度表現運動発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2ブロックをオンラインでつなぎ、2会場(4校)で実施・参観・交流を実施した。 <p>○令和4年度表現運動発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会場校と参加校をオンラインでつなぎ、発表会の様子を参観・応援できるようにした。 <p>【共通】</p> <p>○令和3年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総会等の会議を書面議決やオンライン会議等で実施した。 <p>○令和4年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育指導者合宿講習会をオンラインによる伝達講習を実施した。 ・小中体連研究指定校の研究成果をオンデマンド動画配信方式で発表した。 																																	
実績	<p>【参加人数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>R4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①中学校総合体育大会</td> <td>10,203</td> <td>961</td> <td>9,262</td> <td>10,181</td> </tr> <tr> <td>②中学新人スポーツ体育大会</td> <td>8,814</td> <td>7,178</td> <td>6,974</td> <td>7,711</td> </tr> <tr> <td>③小学校表現運動発表会</td> <td>1,501</td> <td>中止</td> <td>1,382</td> <td>1,504</td> </tr> <tr> <td>④小学校陸上大会</td> <td>3,794</td> <td>1,517</td> <td>1,676</td> <td>2,059</td> </tr> <tr> <td>⑤小学校球技大会</td> <td>4,939</td> <td>中止</td> <td>中止</td> <td>4,644</td> </tr> </tbody> </table> <p>①R1、R4は18種目開催。R2は2種目(ダンス、駅伝)開催。R3は1種目(駅伝)中止</p> <p>②R1は17種目開催。R2は5種目(水泳、体操、ハンドボール、相撲、駅伝)中止。</p> <p>R3は4種目(水泳、体操、相撲、駅伝)中止。R4は1種目(水泳)中止、体操は大会無し。</p> <p>④R2は1000m走、4×100mリレー未実施。R3、R4は4×100mリレー未実施。</p> <p>⑤中止年度は特設球技クラブで実施(R2参加人数6,137人、R3参加人数5,684人)</p>				年度	R1	R2	R3	R4	①中学校総合体育大会	10,203	961	9,262	10,181	②中学新人スポーツ体育大会	8,814	7,178	6,974	7,711	③小学校表現運動発表会	1,501	中止	1,382	1,504	④小学校陸上大会	3,794	1,517	1,676	2,059	⑤小学校球技大会	4,939	中止	中止	4,644
年度	R1	R2	R3	R4																														
①中学校総合体育大会	10,203	961	9,262	10,181																														
②中学新人スポーツ体育大会	8,814	7,178	6,974	7,711																														
③小学校表現運動発表会	1,501	中止	1,382	1,504																														
④小学校陸上大会	3,794	1,517	1,676	2,059																														
⑤小学校球技大会	4,939	中止	中止	4,644																														

	<p>○感染症対策を講じた体育的行事の調査結果</p> <p>【中学校】 各学校の主な感染症対策(アンケートより)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な距離の確保(マスゲームなども含む) ・入場門の増設 ・手指や使用した道具などのこまめな消毒 ・競技へ移動する際に直接入場する ・競技場への直接入場 ・保護者の学年ごとの入れ替え ・保護者と生徒が接触しないようロープで区切る </div> <p>【小学校】 陸上大会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策のため、開催時間がブロック毎で時差があり、人数も少ないのでスムーズに実施できた。 <p>表現運動発表会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体接触を除けば、従来の学習の進め方で取り組むことができることがわかった。
成果と課題	<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全に各種体育大会を運営することができた。 <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会後に感染拡大やクラスター発生の報告はなかった。 ・感染症対策をしっかりと行っていれば、通常通り「体育的行事」は行えることがわかった。 ・感染症対策を行った体育行事を考えていく中で、種目内容を見直し、マンネリ化していた種目を改善できる機会になった。 ・児童生徒が外の活動でマスクを外してよい場面でも、皆がしているからという理由で、マスクを外したくても外せない状況があった。学校教育全体で正しい公衆衛生学を学ぶ必要があり、感染症に対しての知識が必要不可欠であることがわかった。 <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現運動発表会では、オンラインでつなぎ、実施・参観及び交流したことで児童は多くの学校と一緒に取り組んでいるという満足感を高めることができた。 ・陸上大会では、学校で応援する児童が競技の実況や選手のインタビューを見ることができたので盛り上がった。 ・オンラインでは、一部映像が見つらいことがあった。

団体名	公益社団法人 千葉市観光協会																		
関係局	経済農政局																		
取組内容	<p>新型コロナウイルスの影響により落ち込んだ観光需要を回復するため、誘客促進と地域産品の認知度向上を図り、再訪に繋げることを目的とした「ちばおもてなしキャンペーン」を、千葉県が実施する「みんなで元気に！ちばの「おもてなし」提供事業」補助金を活用し、国の「Go To トラベルキャンペーン」と連動した形で実施。</p> <p><キャンペーン内容> キャンペーンに参加する宿泊施設の利用者に3つの特典</p> <p>① 市内のキャンペーン参加施設で使える5,000円分クーポン券を500円で販売 ・クーポンは、房総料理と土産品購入代金の50%相当分に利用可能 ・クーポンは、ホテルチェックアウト日まで利用可能</p> <p>② 飲食店・土産店での特典付(各参加店がおもてなしサービスを提供)</p> <p>③ 宿泊アンケート回答者に抽選でプレゼントを用意(宿泊施設がプレゼントを提供)</p> <p>・実施期間:令和2年9月～令和4年3月31日 ・参加施設:201(ホテル、飲食店、土産店、いちご農園他)</p>																		
実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用クーポン額(千円)</td> <td>117,785</td> <td>369,758</td> <td>487,543</td> </tr> <tr> <td>クーポン利用件数</td> <td>37,642</td> <td>122,223</td> <td>159,865</td> </tr> <tr> <td>クーポン利用時の 飲食・土産代の総額(千円)</td> <td>288,081</td> <td>897,161</td> <td>1,185,242</td> </tr> </tbody> </table>			年度	R2	R3	計	利用クーポン額(千円)	117,785	369,758	487,543	クーポン利用件数	37,642	122,223	159,865	クーポン利用時の 飲食・土産代の総額(千円)	288,081	897,161	1,185,242
年度	R2	R3	計																
利用クーポン額(千円)	117,785	369,758	487,543																
クーポン利用件数	37,642	122,223	159,865																
クーポン利用時の 飲食・土産代の総額(千円)	288,081	897,161	1,185,242																
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> 市内の宿泊施設、飲食、土産品、観光農園等の地元事業者と連携した当事業は、コロナ禍において、上記(実績)の経済効果を創出し、多方面から高い評価を得ることができた。 お客様からもキャンペーン継続希望の声が多数あり、千葉市への再訪に期待が持てる。 必要書類の多さから精算方法や書類の保管方法などに課題を残す。 																		

団体名	公益財団法人 千葉市産業振興財団																									
関係局	経済農政局																									
取組内容	<p>市内中小企業者に対する経営支援</p> <p>1.テレワークアドバイザー派遣事業【令和2年度】 千葉市が実施する緊急事態宣言下におけるテレワーク導入支援にあたり、アドバイザーを派遣する業務等を受託した。</p> <p>2.ICT 活用変革促進事業【令和2年度】 コロナ禍による緊急対策的な支援として、経営者の意識改革(気づきと課題整理)に取り組み、「ちばしチェンジ宣言!」に基づき、ICT 環境の構築による生産性向上・働き方改革の実現を図るため、特に小規模事業者が実施期間内にすぐに達成可能な ICT 化支援を行った。</p> <p>3.ICT 活用生産性向上支援事業【令和3年度～】 短期的課題に対する ICT 化への転換にかかる経費を補助するほか、業務プロセス等の改善や抜本的転換に向けた経営戦略の構築や ICT 化を伴う事業変革に向けての取組みに対して新たな成果指標を定めた上で実施し、働き方改革や生産性の向上をより促進する。</p> <p>4.事業活動変革促進支援事業【令和3年度～】 コロナ禍における事業変革の取組みとして、業務転換、新分野進出、企業再建等に係る経費の一部を助成することにより企業の事業変革を促進し持続性ある企業経営及び経営基盤強化を図る。</p>																									
実績	<p>1.テレワークアドバイザー派遣事業【令和2年度】</p> <table border="1"> <tr> <td>派遣件数</td> <td>派遣日数</td> </tr> <tr> <td>3 件</td> <td>15 日</td> </tr> </table> <p>2.ICT 活用変革促進事業【令和2年度】</p> <table border="1"> <tr> <td>支援件数</td> </tr> <tr> <td>79 件</td> </tr> </table> <p>3.ICT 活用生産性向上支援事業【令和3年度～】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支援件数</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>16 件</td> <td>STEP1:12、STEP2:1、STEP3:3</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>16 件</td> <td>STEP1:12、STEP2:1、STEP3:3</td> </tr> </tbody> </table> <p>4.事業活動変革促進支援事業【令和3年度～】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支援件数</th> <th>内訳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和3年度</td> <td>5 件</td> <td>業態転換:1、新分野進出:2、事業転換:1</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>2 件</td> <td>新分野進出:2</td> </tr> </tbody> </table>		派遣件数	派遣日数	3 件	15 日	支援件数	79 件		支援件数	内訳	令和3年度	16 件	STEP1:12、STEP2:1、STEP3:3	令和4年度	16 件	STEP1:12、STEP2:1、STEP3:3		支援件数	内訳	令和3年度	5 件	業態転換:1、新分野進出:2、事業転換:1	令和4年度	2 件	新分野進出:2
派遣件数	派遣日数																									
3 件	15 日																									
支援件数																										
79 件																										
	支援件数	内訳																								
令和3年度	16 件	STEP1:12、STEP2:1、STEP3:3																								
令和4年度	16 件	STEP1:12、STEP2:1、STEP3:3																								
	支援件数	内訳																								
令和3年度	5 件	業態転換:1、新分野進出:2、事業転換:1																								
令和4年度	2 件	新分野進出:2																								

<p>成果と課題</p>	<p>1.テレワークアドバイザー派遣事業【令和2年度】 対面での事業活動が制限されたコロナ禍において、事業者の迅速なテレワーク導入をサポートすることができた。一方で、第4四半期における事業実施だったこともあり、執行体制の整備に苦慮した。</p> <p>2.ICT活用変革促進事業【令和2年度】 コロナ禍における事業者のデジタル化を迅速に進めることから、パソコン等も含めたICT機器の導入による生産性の向上や働き方改革の実現に寄与した。</p> <p>3.ICT活用生産性向上支援事業【令和3年度～】 ICTの活用による生産性向上や働き方改革に加え、大規模な業務効率化や事業の転換・変革に係る経費の一部を助成することにより、中長期的な課題解決や企業価値の向上への取組みを支援した。</p> <p>4.事業活動変革促進支援事業【令和3年度～】 コロナ禍における厳しい経営環境に適応すべく、既存事業からの事業変革に要する経費の一部を援助することより、事業の継続を支援することができた。</p>
--------------	---

団体名	千葉商工会議所
関係局	経済農政局
取組内容	<p>千葉商工会議所では、新型コロナウイルス感染症対策の取組として、以下の7項目を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 当所で開催する会議のオンライン化・ハイブリッド化 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大下における各種会議開催は、感染拡大防止のために、人数制限を設けて実施した。開催方法は、書面決議やオンライン開催、ハイブリッド開催(オンラインとリアルの両方で開催)。 ・ハイブリッド開催時には、新型コロナウイルス感染症への対応として、3密(密閉・密集・密接)を避けるための工夫や、非接触型体温計の導入、アルコール消毒の徹底、アクリル板を設置し、感染対策を行った。 2. 会報誌(月1回発行)やホームページによる支援策の周知活動 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉商工会議所が発行している会報誌やホームページで、新型コロナウイルス感染症関係の支援策について、周知を行った。 <p>【会報誌】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響を受けた事業者に対し、国・県・市の各種支援情報をわかりやすく提供するため、支援情報を一覧化し誌面での掲載を行ったほか、経済産業省が作成した新型コロナウイルス感染症関連情報のパンフレット等を会報誌に同封して発送するなど、周知徹底を図った。 <p>【ホームページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市の各種支援情報のほか、協力要請依頼等について随時掲載を行った。また、新たに新型コロナウイルス感染症関連情報をまとめて掲載する専用ページを設け、当所の経営相談窓口や国・県・市の支援施策情報の掲載を行った。 3. 当所独自の景気動向調査及び特別調査における、新型コロナウイルス感染症の影響把握 <ul style="list-style-type: none"> ・千葉商工会議所独自の調査である景気動向調査や、新型コロナウイルス感染症の特別調査の実施により、会員企業・市内企業の新型コロナウイルス感染症の影響把握を行った。 <p>【新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経営への影響を調査するため、本調査を実施。 <p>【新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症による企業経営への影響について、観光・サービス部会員の状況を把握するため、本調査を実施。 <p>【新型コロナワクチン職域接種に関する事前調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン職域接種の希望について聴取するため、本調査を実施。 <p>【景気動向調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響について定点調査するため、四半期に一度行っている本調査の付帯調査として、「新型コロナウイルス感染症の影響について」の項目を新たに追加。

4. 千葉県や千葉市の新型コロナウイルス感染症関連支援策について、要望活動を実施
- ・日々の相談や調査活動、部会・委員会で寄せられる事業者からの声が、県・市の新型コロナウイルス感染症関連支援策へと反映されるよう、要望活動を行った。
5. 新型コロナウイルス感染症に関する補助金や支援金、助成金の申請書の作成支援や、登録確認機関としての事前確認の実施
- ・小規模事業者が、新型コロナウイルス感染症が事業環境に与える影響を乗り越えるため、従前の小規模事業者持続化補助金「一般型」に加え、感染防止対策を行う事業に要する経費の一部を補助する「コロナ特別型」などの申請書の作成支援を行った。
 - ・コロナの拡大や長期化に伴う需要の減少や事業活動の制約などにより、大きな影響を受け、売上が通常月と比較して、大きく減少した事業者に対して、支援金が給付された。申請にあたっては、認定経営革新等支援機関に登録した機関に予め、帳簿等の書類について、形式的な確認を受ける必要があり、当所も登録確認機関として、①一時支援金、②月次支援金、③事業復活支援金の事前確認を行った。
 - ・厳しい経営環境にある中小企業者等に対して、事業用家屋及び償却資産に係る固定資産税・都市計画税の軽減措置が講じられ、軽減措置を申告するにあたり、当所も認定経営革新等支援機関として確認作業を行った。
6. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者からの経営相談対応
- ・「新型コロナウイルスに関する経営相談窓口」や「オンライン相談窓口」を設置し、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者からの資金繰りや補助金・支援金申請支援をはじめ、事業環境変化を受ける中小企業・小規模事業者等に対して、幅広く相談に応じた。
7. 「千葉市新型コロナウイルス冬季緊急対策」をはじめとする事業者向け支援制度について、千葉市の職員に同行し、市内飲食店への個別訪問・周知活動を実施
- 千葉市から委託を受け、令和2年12月4日発表した「千葉市新型コロナウイルス冬季緊急対策」をはじめとする事業者向け支援制度について、その実用性を高めるために千葉市の職員に同行し、市内飲食店への個別訪問・周知活動を行った。
- 具体的な周知内容としては、以下のとおり。
- ・千葉市飲食店冬季感染症対策支援金について
 - ・千葉市新型コロナウイルス感染症対策取組宣言の店への登録について
 - ・各種給付金等の申請期限について
 - ・新型コロナウイルス感染症対策条例の制定について
 - ・飲食店における新型コロナウイルス対策～来店されたお客様～

実績	1. 当所で開催する会議のオンライン化・ハイブリッド化																
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和3年度</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>書面決議</td> <td>14回</td> <td>11回</td> <td>25回</td> </tr> <tr> <td>オンライン開催 (Zoom や Teams を使用)</td> <td>0回</td> <td>8回</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>ハイブリッド開催 (Zoom や Teams を使用)</td> <td>0回</td> <td>3回</td> <td>3回</td> </tr> </tbody> </table>	年度	令和2年度	令和3年度	合計	書面決議	14回	11回	25回	オンライン開催 (Zoom や Teams を使用)	0回	8回	8回	ハイブリッド開催 (Zoom や Teams を使用)	0回	3回	3回
	年度	令和2年度	令和3年度	合計													
	書面決議	14回	11回	25回													
	オンライン開催 (Zoom や Teams を使用)	0回	8回	8回													
	ハイブリッド開催 (Zoom や Teams を使用)	0回	3回	3回													
	2. 会報誌(月1回発行)やホームページによる支援策の周知活動																
	【会報誌】 国・県・市の各種支援情報については、令和2年5月号～令和4年9月号まで掲載を行った。																
	【ホームページ】 令和元年度と比較し、令和2年度においては、セッション数、ユーザー数、ページビュー数すべてにおいて増加した。 ※新型コロナウイルス感染症に関するページ以外の閲覧も含む																
	3. 当所独自の景気動向調査及び特別調査における、新型コロナウイルス感染症の影響把握																
・千葉商工会議所独自の調査である景気動向調査や、新型コロナウイルス感染症の特別調査の実施により、会員企業・市内企業の新型コロナウイルス感染症の影響把握を行った。																	
①「新型コロナウイルス感染症の影響に関する緊急調査」 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う経営への影響を調査するため、本調査を実施。																	
②「新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケート調査」 新型コロナウイルス感染症による企業経営への影響について、観光・サービス部会員の状況を把握するため、本調査を実施。																	
③「新型コロナワクチン職域接種に関する事前調査」 新型コロナワクチン職域接種の希望について聴取するため、本調査を実施。																	
④「景気動向調査」 新型コロナウイルス感染症の影響について定点調査するため、四半期に一度行っている本調査の付帯調査として、「新型コロナウイルス感染症の影響について」の項目を新たに追加。																	
4. 千葉県や千葉市の新型コロナウイルス感染症関連支援策について、要望活動を実施 <千葉市への新型コロナウイルス感染症関連要望>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年度</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>令和4年度</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>令和5年度</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	年度	件数	令和2年度	4	令和3年度	3	令和4年度	1	令和5年度	1							
年度	件数																
令和2年度	4																
令和3年度	3																
令和4年度	1																
令和5年度	1																

<千葉県への新型コロナウイルス感染症関連要望>

年度	件数
令和2年度	8
令和3年度	8
令和4年度	2
令和5年度	1

5. 新型コロナウイルス感染症に関する補助金や支援金、助成金の申請書の作成支援や、登録確認機関としての事前確認の実施

小規模事業者持続化補助金(コロナ特別型、低感染リスク型、一般型)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
申請件数	338件	146件	163件
採択件数	189件	72件	101件

コロナの影響緩和等に係る支援金(一時支援金、月次支援金、事業復活支援金)

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
確認件数	159件	515件	178件

固定資産税及び都市計画税の課税標準の特例措置

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
確認件数	36件	なし	なし

6. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者からの経営相談対応

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
相談件数	5,023件	2,614件	2,279件

7. 事業者向け支援制度について、市内飲食店への個別訪問・周知活動

同行日	派遣人数
令和2年12月24日(木)	2名
令和2年12月25日(金)	2名
令和3年1月7日(木)	2名
令和3年1月8日(金)	2名
令和3年1月12日(火)	2名
計5日間	延べ10名

<p>成果と課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 会議のオンライン化・ハイブリッド化 <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインで開催することにより、感染拡大防止を図りながら必要な会議を開催することが出来た。 ・オンライン開催、ハイブリッド開催時には、通信状況や機器の不調の影響を受けやすく、オンラインでの接続がうまくいかず、途中で接続が切れてしまうことや、声が聞こえず対応に時間がかかる場面があった。 ・ハイブリッド開催時には、オンライン参加者向けの資料準備と、リアル参加者の資料(印刷)準備に対応する必要があり、手間と時間がかかる。 2. 会報誌やホームページによる支援策の周知活動 <p>【会報誌】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・県・市の各種支援情報を一覧化し掲載を行った結果、わかりやすいと好評で、他の会議所や地元金融機関などから参考にしたいとのお声があった。 ・一方、県・市の協力により支援策が公表される前に情報提供していただけるケースもあったが、会報誌の性質上、タイムリーな情報提供を行うことは難しかった。 <p>【ホームページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会報誌と比べタイムリーな情報提供が可能であるものの、国・県・市の支援情報については随時更新されるため、担当者が都度調べて更新するなどの手間が発生した。 3. 景気動向調査及び特別調査における、新型コロナウイルス感染症の影響把握 <ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の新型コロナウイルス感染症に関する影響を把握することにより、当所の支援体制や行政への要望等に反映することが出来た。 ・市内事業者の状況把握及び意見等を吸い上げるための重要な調査であるものの、景気動向調査など定期的実施しているものや職域接種といった関心が高いものについては回答率が高いが、それ以外の調査については回答率が低い傾向にある。 4. 新型コロナウイルス感染症関連支援策について、要望活動 <ul style="list-style-type: none"> ・日々の相談や調査活動、部会・委員会で感じる新型コロナウイルス感染症拡大による事業者への影響や、事業者からの声を要望として届けることで、県・市が講じる新型コロナウイルス感染症関連の支援策に反映された。 ・一年の中で、感染収束と拡大を何度も繰り返すウイルスに対して、感染拡大防止と経済回復のどちらを優先すべきかの判断や、要望提出のタイミングが難しく、長期的な視野と短期的な視野の両面から、迅速な要望活動を行っていくことが必要。 5. 新型コロナウイルス感染症に関する補助金や支援金、助成金の申請書の作成支援や、登録確認機関としての事前確認の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・持続化給付金からはじまり、一時支援金、月次支援金、事業復活支援金と矢継ぎ早に、新型コロナウイルス感染症で影響を受けた事業者に給付金が支給され、申請件数が予想以上に多かったが、経営指導員のみならず、全所的な取組で対応を行った。
--------------	---

6. 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業・小規模事業者からの経営相談
対応

- ・ 経営指導員の本来業務である巡回指導が、支援金等の対応に追われてしまったことや感染症リスクなどにより、大幅に減少した。従前では当たり前であった対面相談が、訪問の制約を受けたことにより、オンラインへの体制作りを余儀なくされた。
- ・ オンライン相談では、移動時間削減や相談場所の自由度が上がり、遠方の事業者などへも柔軟に対応できるようになった。一方で、決算書などは、ボリュームがあるため紙のほうが扱いやすかったり、リアルと比べてコミュニケーションがとりづらかったりする課題もあった。

7. 事業者向け支援制度について、市内飲食店への個別訪問・周知活動

- ・ 市内の飲食店、計165事業所を訪問し、支援制度の普及および新型コロナウイルス感染症対策の実施状況などについて確認を行った。

団体名	一般社団法人千葉市建設業協会、千葉市造園緑化協同組合 協同組合千葉電設協会、協同組合千葉市管工事業協会
関係局	建設局
取組内容	感染防止の一助となるよう、最前線で対策や公的事业などに従事されている方々に少しでも役立ててもらうため、新型コロナウイルス感染症の影響で不足している不織布マスクを千葉市へ寄贈。
実績	令和2年5月22日付けで下記のとおり寄贈。 不織布3層マスク 10,000枚(1箱50枚入り200箱) 【内訳】一般社団法人千葉市建設業協会 4,000枚(80箱) 千葉市造園緑化協同組合 2,000枚(40箱) 協同組合千葉電設協会 2,000枚(40箱) 協同組合千葉市管工事業協会 2,000枚(40箱)
成果と課題	寄贈したマスクは、千葉市から医療機関や社会福祉施設などに配布された。

団体名	公益財団法人 千葉市国際交流協会										
関係局	総務局										
取組内容	<p>外国人市民への情報提供</p> <p>1 市政だより臨時号の多言語対応 臨時号をやさしい日本語及び多言語に翻訳、ホームページやSNSで情報発信を行った。</p> <p>2 多言語・やさしい日本語での情報発信(令和2年2月～令和5年5月) ワクチン接種、特別定額給付金、感染拡大の注意喚起等を多言語・やさしい日本語でホームページやSNSでの情報発信、市内の大学・日本語学校・日本語教室等へ情報提供を行った。</p> <p>3 各種書類・様式の多言語翻訳 国際交流課からの依頼を受け、各種書類・様式の多言語翻訳を行った。</p>										
実績	<p>1 市政だより臨時号の多言語対応</p> <p>(1)対応言語:英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、やさしい日本語</p> <p>(2)作成件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作成件数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 多言語・やさしい日本語での情報発信 ・最新情報を国際交流課等から収集し、情報発信を行った。 ・新型コロナウイルス週報をホームページへ掲載した(週1回)。</p> <p>3 各種書類・様式の多言語翻訳 国際交流課からの依頼を受け、随時対応した。</p>	年度	R1	R2	R3	計	作成件数	2	3	5	10
年度	R1	R2	R3	計							
作成件数	2	3	5	10							
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ閲覧数やFacebookフォロワー数が増加した。 ・国際交流課をはじめ関係所管課と連携し、新型コロナウイルス感染症に関する情報を速やかに情報発信することができた。 ・Facebook等のSNSや市内の大学・日本語学校・日本語教室等を通じて、外国人市民への情報提供を行ったが、外国人市民全体にまで情報を行き渡らせるのが困難であった。 ・全ての言語に対応するのは困難なため、翻訳できない言語については、外国人相談窓口での対応とすることとした。また、日本であまり使用されていない言語への翻訳依頼があった際に、翻訳完了まで時間がかかった。 										